

このお便りは、児童・生徒の皆さんが、充実した地域生活を送るために役立つ情報や取組について紹介しています。今回は「第2回学校公開」と、学校間交流や副籍制度に基づく交流に向けた「出前授業」の様子をお伝えします。

令和7年度「第2回学校公開」

令和7年9月12日（金）に「第2回学校公開」（地域向け）を実施しました。多くの方に関心を寄せていただき、当日は定員を上回る62名が御参加くださいました。病院、就学前施設・放課後等デイサービス事業所・福祉施設・相談支援事業所・行政等の職員の方がお越しくださり、本校の概要説明や授業見学を行いました。



参加者のアンケートには「各見学教室に、授業のねらいやポイントを記載した資料が貼ってあり、とても丁寧で分かりやすいと感じました。」「個々への配慮や工夫を知ることができました。」「子供たちの普段見られない姿に感動しました。学習に熱心に取り組む姿は素晴らしく、私たちの日々の対応や取り組みの指針になりました。」等の、様々な視点からの感想をいただきました。地域の方や関係機関の方に、今後も本校の教育活動を知っていただく機会を設け、地域に開かれた学校づくりに努めます。

武蔵村山市立第三中学校との学校間交流に向けた「出前授業」



本校では、共生社会の実現を目指して、今年度から中学部と武蔵村山市立第三中学校との学校間交流を開始します。そこで11月の交流に向けて、令和7年10月17日（金）に本校教員が出前授業を行いました。本校の校舎内の特徴的な設備の紹介、通っている生徒たちの学習の様子、交流の際に配慮してもらいたいこと等をお伝えし、授業の最後には当日行うボッチャの練習もしました。

交流するチャレンジクラスの生徒の皆さんは、給食に関する質問をしたり、職場体験で福祉施設に行った経験があることを話したりと、本校との交流に関心を寄せてくれていました。当日は障害の有無に関わらず、互いの存在を知り合うために、学校紹介やボッチャでの対戦を行う予定です。



副籍制度に基づく直接交流に向けた「出前授業」

副籍制度に基づく直接交流を行う際に、児童・生徒や保護者の方の希望に応じて、事前に交流する学級に向けた「出前授業」を行っています。対象となる学年の発達段階や、過去の出前授業の実施回数とその内容、交流する本校の児童・生徒の様子に合わせて、毎回内容を検討し、授業をしています。またどの授業でも、理解啓発の内容の他に「地域に関する共通の話題」を取り上げ、副籍制度の対象となる義務教育終了後も、居住する地域とのつながりを維持・継続できるように工夫しています。

共生社会の実現は、副籍での交流以外にも、日頃からの積極的な地域社会への参加が不可欠です。休日の地域イベントへの参加や、身近な公共施設や公共交通機関の利用等、御家庭でできることを探して、是非取り組んでみてください。

